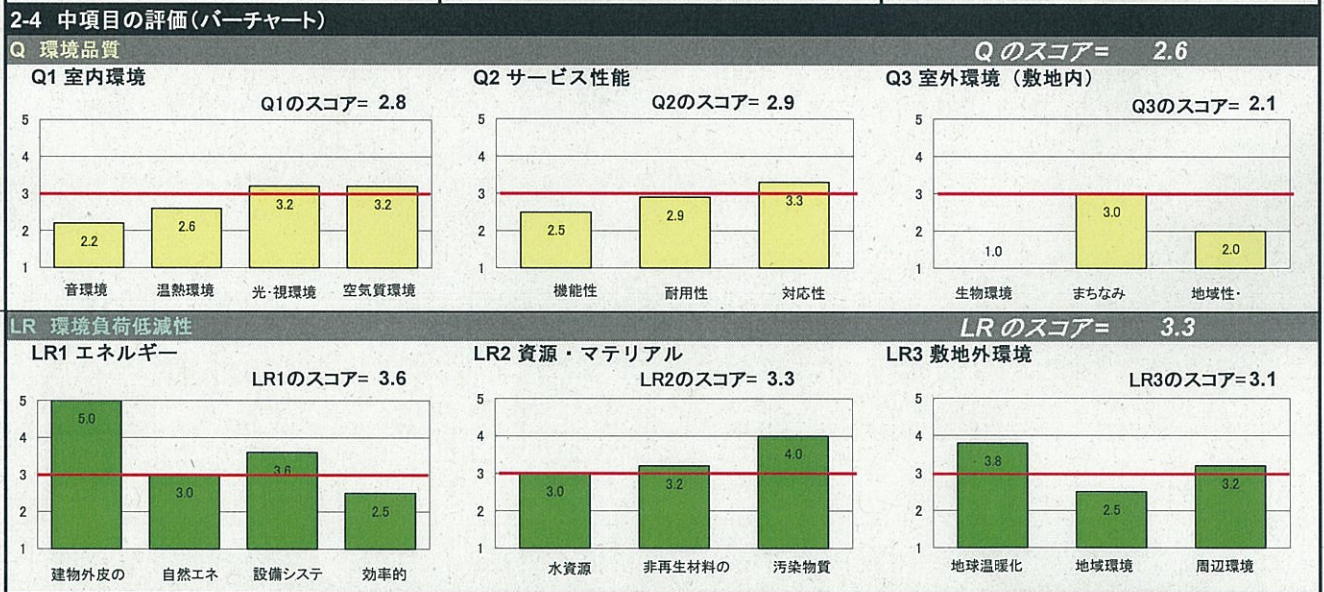
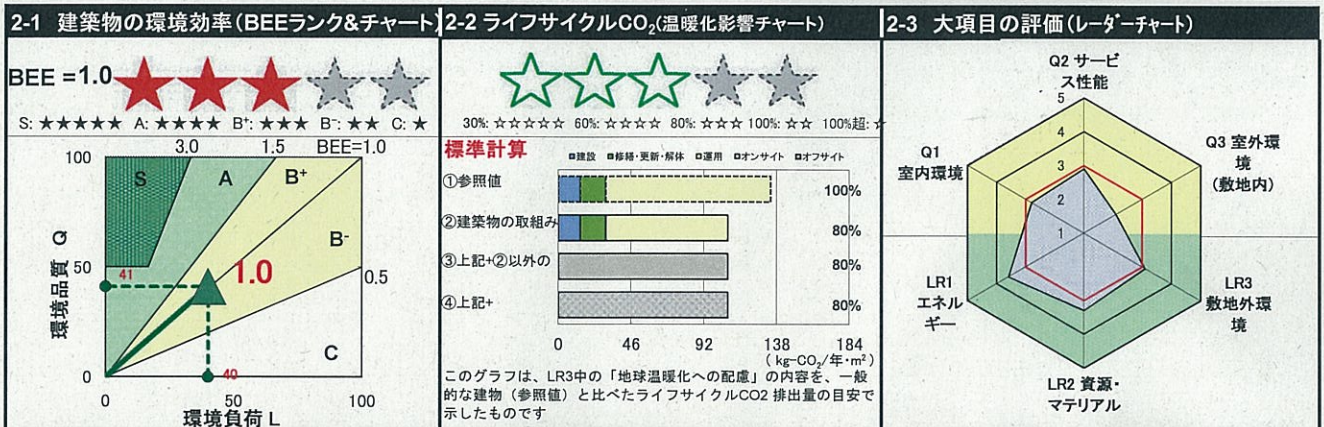


CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	JR西日本 米子支社ビル	階数	地上5F
建設地	鳥取県米子市弥生町2番地 の一部	構造	S造
用途地域	商業地域, 準防火地域	平均居住人員	725 人
地域区分	6地域	年間使用時間	4,380 時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2020年9月 予定	評価の実施日	2019年1月28日
敷地面積	2,672 m ²	作成者	(株)エネ・グリーン 坪田彩乃
建築面積	1,111 m ²	確認日	2019年1月29日
延床面積	4,355 m ²	確認者	(株)エネ・グリーン 定森 淳一



3 設計上の配慮事項		
総合 施設を利用する人の心理性、快適性を重視しており作業をしやすい環境づくりに努めている。FAフロア、LGS下地の使用により将来的にもリサイクル可能な建材を用い環境に優しい建物となっている。		その他 0
Q1 室内環境 庇やブラインドにより昼光制御を行っている。また開口部を設けることにより自然換気性能の向上に努めている。施設内に喫煙室を設けることにより非喫煙者に影響のない空間を作っている。	Q2 サービス性能 天井高、各階の階高を高く設計し広く感じられる空間を設け、心理性・快適性に考慮をされている。またリフレッシュスペースを設置し快適なオフィスづくりに努めている。	Q3 室外環境 (敷地内) 緑地を設けている。
LR1 エネルギー 高性能断熱材、複層ガラスの採用等、建物の熱負荷抑制に努めている。LED照明等の高効率設備機器を採用している。	LR2 資源・マテリアル FAフロア、LGS下地を使用することで将来的にリサイクルを促進する対策が成されている。発泡剤を用いた断熱材を使用せず環境に考慮されている。	LR3 敷地外環境 省エネルギー性能に配慮し、地球温暖化防止に努めている。光害対策ガイドラインにそって漏れ光等の照明設備の対策がされている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される